

平成 1 2 年度 第 1 回
受注登録企業動向調査結果報告書

(平成 1 2 年 6 月末現在)

財団法人 京都府中小企業振興公社

1. 調査概要

(1) 調査目的

受注登録企業の受注動向等の実態を把握することにより、受発注取引あっせんをはじめとする下請企業振興事業の円滑化を図る。

(2) 調査対象企業

当公社に登録している受注企業 300 企業

業種別内訳（産業分類 中分類）

鉄鋼・非鉄関係	30 企業	金属製品関係	45 企業
一般機器関係	45 企業	電気機器関係	45 企業
輸送用機器関係	30 企業	精密機器関係	30 企業
縫製関係	45 企業	樹脂製品関係	30 企業

(3) 調査時点

平成 12 年 6 月 30 日現在

（前回調査時点 平成 12 年 3 月 31 日）

(4) 調査方法

調査票（別紙様式）の郵送によるアンケート方式

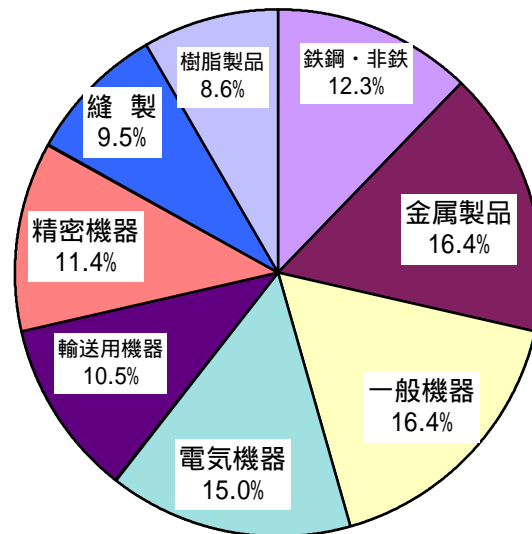
調査項目（受注量、受注量の見通し、受注単価、資金繰り、採算状況、受注余力）

(5) 回収状況

調査対象企業数	300 企業		
回収企業	220 企業		
内訳	鉄鋼・非鉄関係	27 企業	(12.3%)
	金属製品関係	36 企業	(16.4%)
	一般機器関係	36 企業	(16.4%)
	電気機器関係	33 企業	(15.0%)
	輸送用機器関係	23 企業	(10.5%)
	精密機器関係	25 企業	(11.4%)
	縫製関係	21 企業	(9.5%)
	樹脂製品関係	19 企業	(8.6%)
回収率	73.3%		

2. 回答企業の概要

(1) 業種別回答企業の内訳



(2) 業種別・資本金別回答企業数

(単位：社)

	全体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	縫製	樹脂製品
個人	19 8.6%	3 11.1%	0 0.0%	1 2.8%	1 3.0%	1 4.3%	1 4.0%	8 38.1%	4 21.1%
～300万円	21 9.5%	3 11.1%	2 5.6%	2 5.6%	4 12.1%	2 8.7%	2 8.0%	6 28.6%	0 0.0%
301～999万円	12 5.5%	1 3.7%	2 5.6%	2 5.6%	1 3.0%	3 13.0%	1 4.0%	1 4.8%	1 5.3%
1000～2000万円	123 55.9%	10 37.0%	26 72.2%	24 66.7%	23 69.7%	15 65.2%	10 40.0%	6 28.6%	9 47.4%
2001～5000万円	38 17.3%	9 33.3%	6 16.7%	7 19.4%	3 9.1%	2 8.7%	7 28.0%	0 0.0%	4 21.1%
5000万円超	7 3.2%	1 3.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.0%	0 0.0%	4 16.0%	0 0.0%	1 5.3%
合計	220 100%	27 100%	36 100%	36 100%	33 100%	23 100%	25 100%	21 100%	19 100%

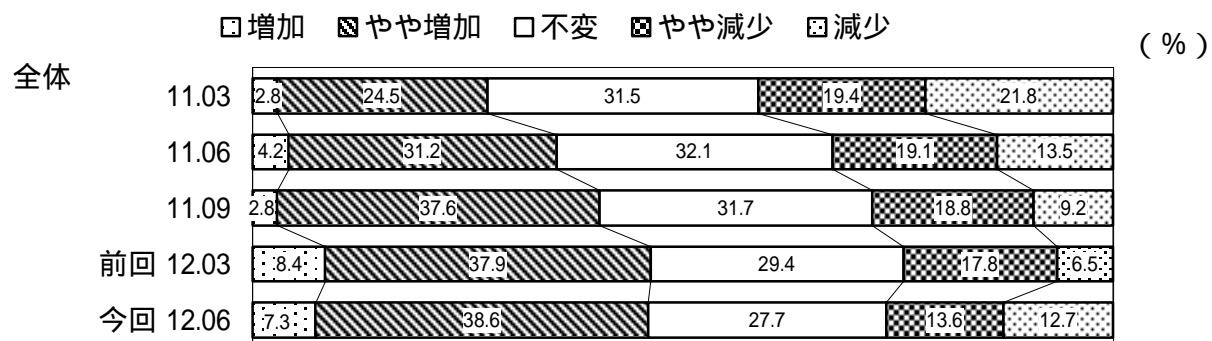
(3) 業種別・従業員別回答企業数

(単位：社)

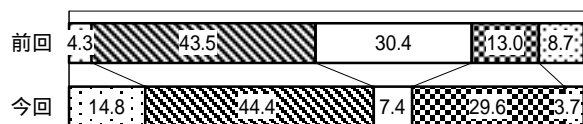
	全体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	縫製	樹脂製品
1～5人	31 14.1%	4 14.8%	0 0.0%	4 11.1%	4 12.1%	4 17.4%	3 12.0%	8 38.1%	4 21.1%
6～10人	46 20.9%	9 33.3%	8 22.2%	11 30.6%	2 6.1%	6 26.1%	1 4.0%	5 23.8%	4 21.1%
11～20人	53 24.1%	4 14.8%	15 41.7%	11 30.6%	6 18.2%	5 21.7%	7 28.0%	3 14.3%	2 10.5%
21～30人	37 16.8%	5 18.5%	7 19.4%	7 19.4%	6 18.2%	5 21.7%	1 4.0%	3 14.3%	3 15.8%
31～50人	27 12.3%	2 7.4%	3 8.3%	2 5.6%	8 24.2%	2 8.7%	6 24.0%	2 9.5%	2 10.5%
51人以上	26 11.8%	3 11.1%	3 8.3%	1 2.8%	7 21.2%	1 4.3%	7 28.0%	0 0.0%	4 21.1%
合計	220 100%	27 100%	36 100%	36 100%	33 100%	23 100%	25 100%	21 100%	19 100%

3. 調査結果

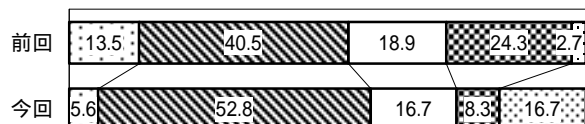
(1) 受注量について



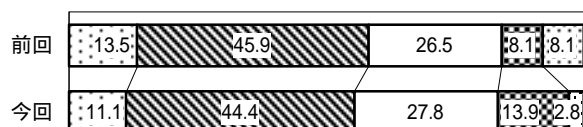
鉄鋼・非鉄



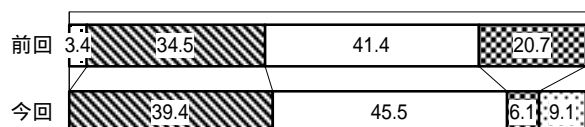
金属製品



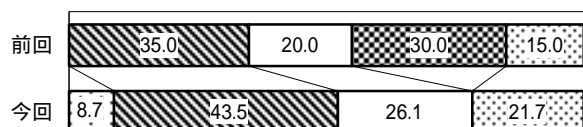
一般機器



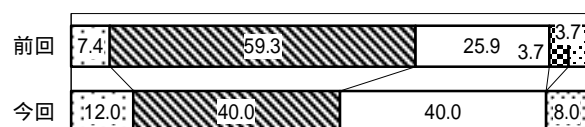
電気機器



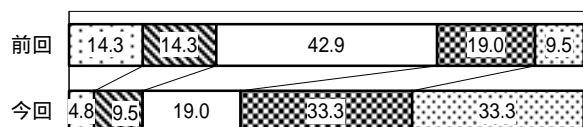
輸送用機器



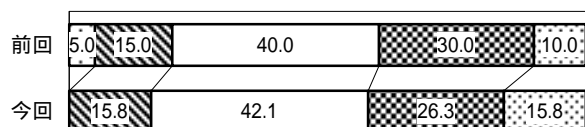
精密機器



縫製

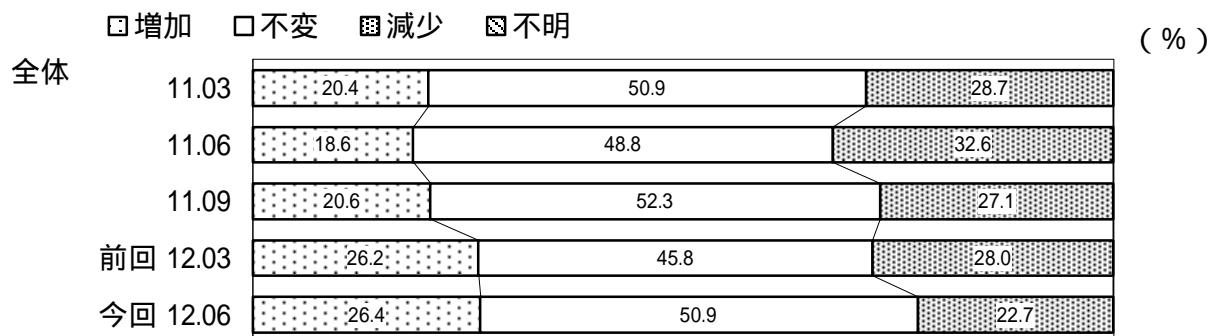


樹脂製品

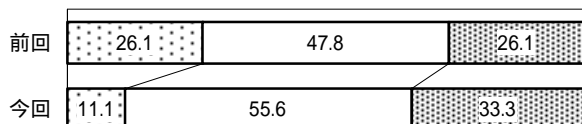


- ・ 全体では、「増えた」（増加又はやや増加）とする企業が45.9%で前回調査と比較して0.4ポイント減少し、「減った」（減少又はやや減少）とする企業は26.3%で逆に前回調査と比較して2.0ポイント増えてはいるものの、「増えた」が「減った」を大幅に上回っている。
- ・ これを業種別に見ると、金属製品、電気機器、輸送用機器で「増えた」とする企業が増加しているものの、縫製では「減った」とする企業が増加しており、業種間のばらつきが大きく、企業間格差も見られる。

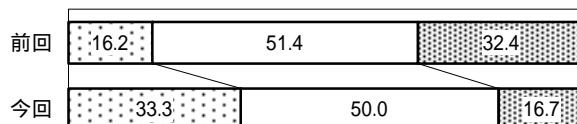
(2) 受注量の見通しについて



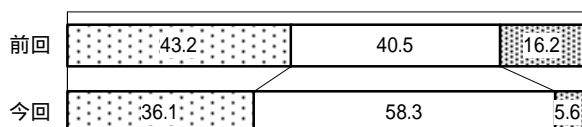
鉄鋼・非鉄



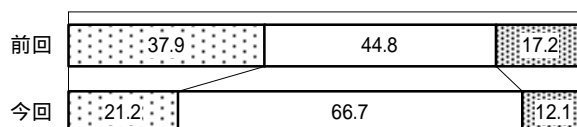
金属製品



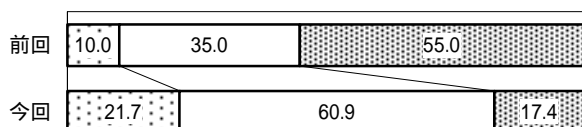
一般機器



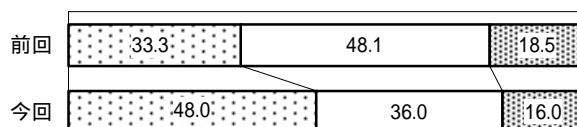
電気機器



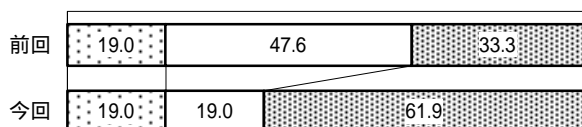
輸送用機器



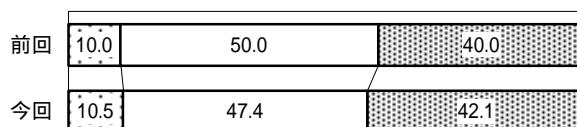
精密機器



縫製

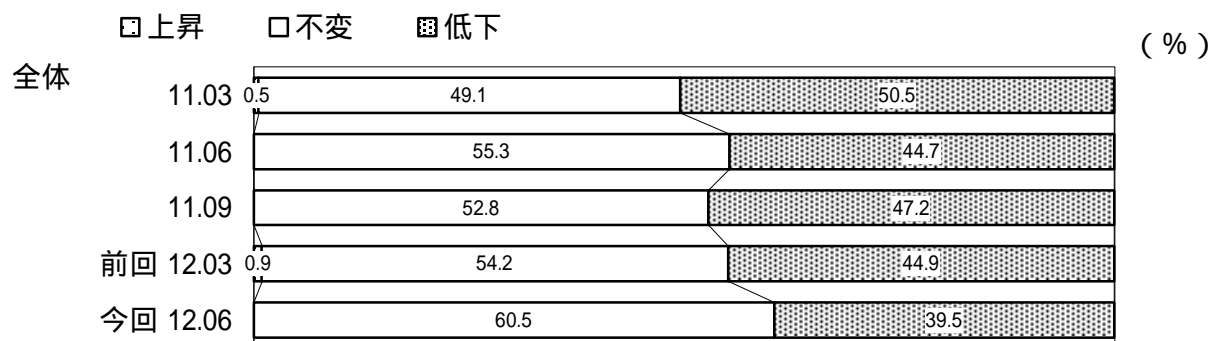


樹脂製品

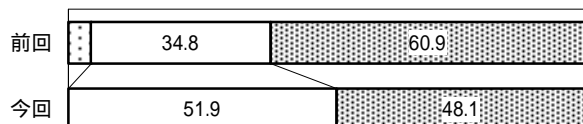


- ・ 全体では、「増加」とする企業が26.4%で前回調査に比べて0.2ポイント増加し、「減少」とする企業が28.0%で5.3ポイント減少しており、回復傾向にあるものの、「不変」が半数以上を占め、慎重な見通しとなっている。
- ・ 業種別では、輸送用機器、金属製品、精密機器は増加の見通しであるが、鉄鋼・非鉄、縫製、樹脂製品で減少傾向を示しており、特に縫製で「減少」とする企業が61.9%で28.6ポイントと大幅に増加しており、先行きが厳しい見通しとなっている。

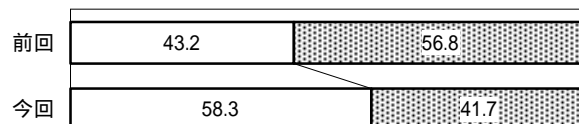
(3) 受注単価について



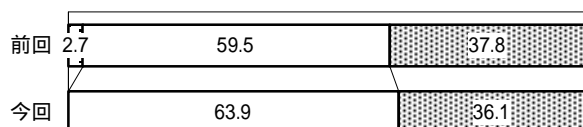
鉄鋼・非鉄



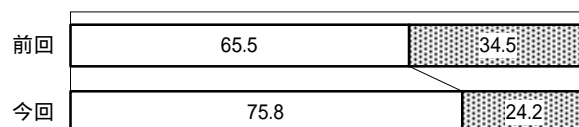
金属製品



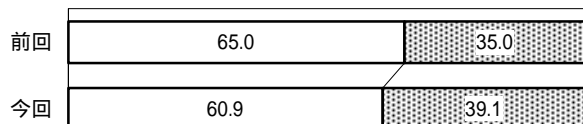
一般機器



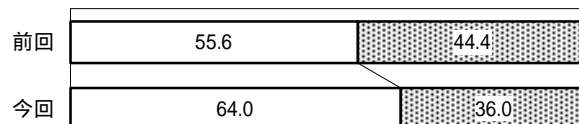
電気機器



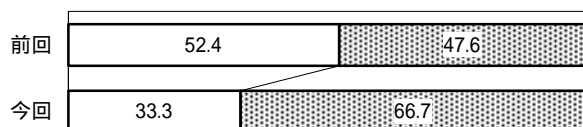
輸送用機器



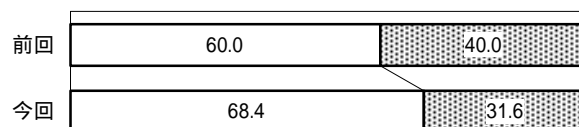
精密機器



縫製

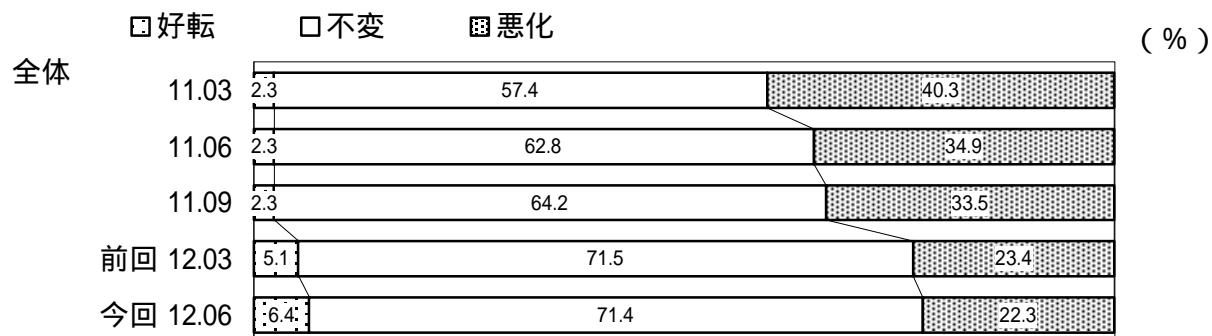


樹脂製品

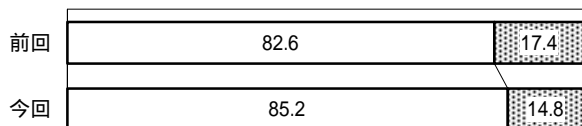


- ・ 全体では、「上昇」とする企業は見られず、「低下」とする企業が39.5%で4割近くを占めているが、前回調査に比べると5.4ポイント減少しており、受注単価の低下傾向に下げ止まりの兆しが見られる。
- ・ 業種別では、鉄鋼・非鉄、金属製品、電気機器等で下げ止まりが顕著になりつつある反面、縫製では、「低下」が19.1ポイント増えて6割以上の企業が「低下」としており、特に厳しい状況が見られる。

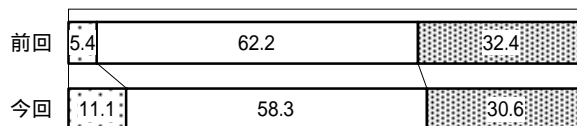
(4) 資金繰りについて



鉄鋼・非鉄



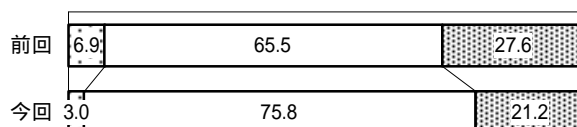
金属製品



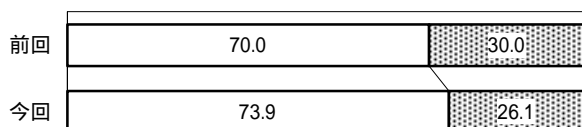
一般機器



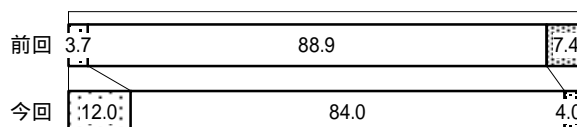
電気機器



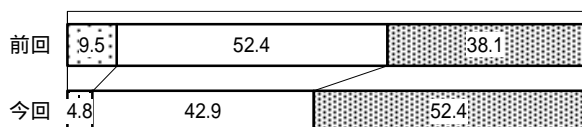
輸送用機器



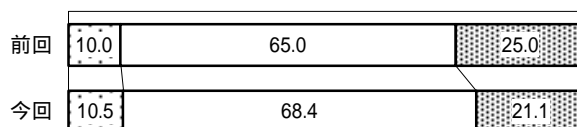
精密機器



縫製

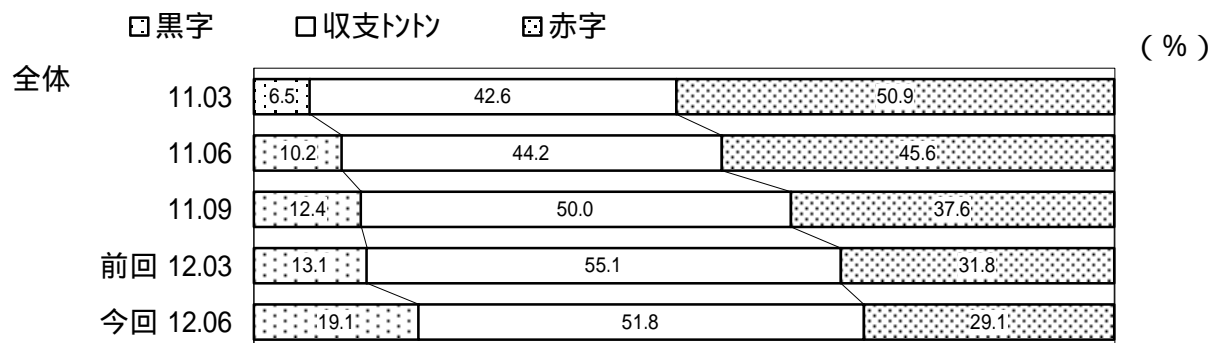


樹脂製品

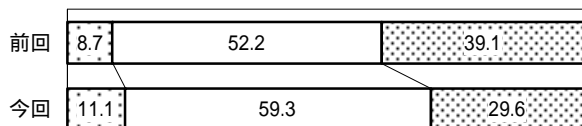


- 全体では、「好転」とする企業6.4%（14社）、「悪化」とする企業が22.3%で前回調査に比べて1.1ポイント減少しており、やや好転の傾向が見られるものの、不変とする企業が7割以上を占めており、依然厳しい状況がうかがわれる。
- 業種別に見ても、各業種とも好転の傾向が見られるが、縫製では「悪化」が50%を超えており、かなり厳しい状況がうかがわれる。

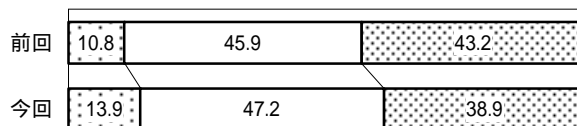
(5) 採算状況について



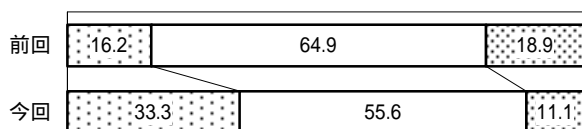
鉄鋼・非鉄



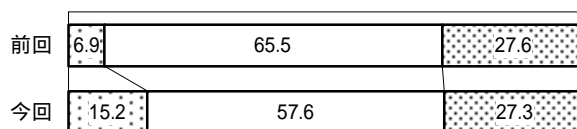
金属製品



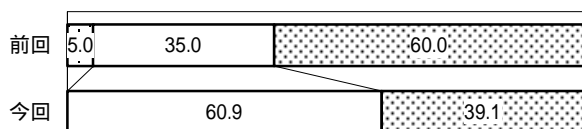
一般機器



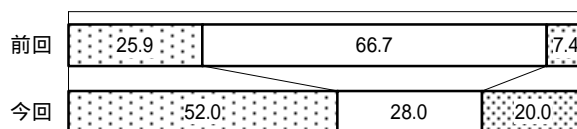
電気機器



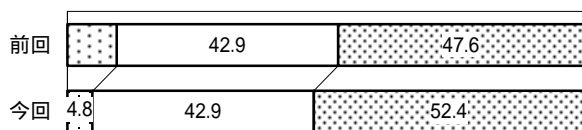
輸送用機器



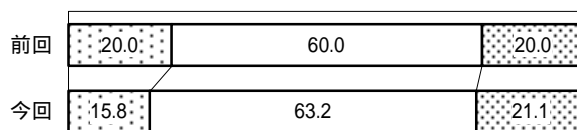
精密機器



縫製

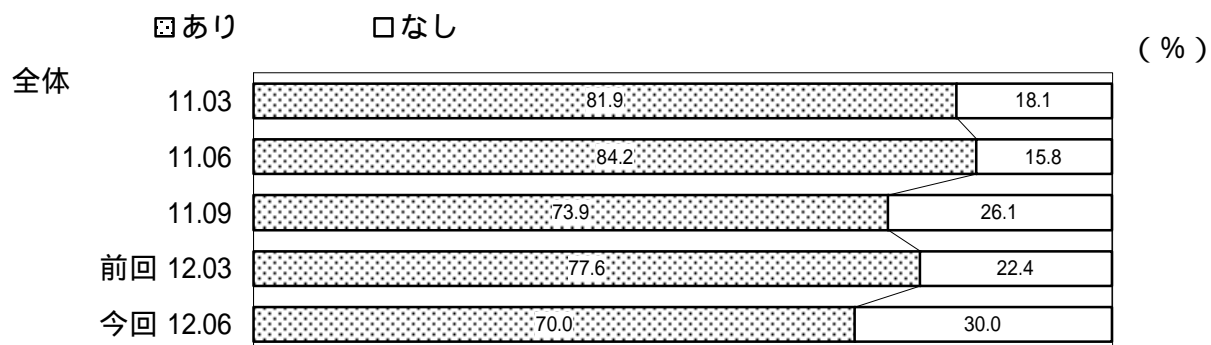


樹脂製品

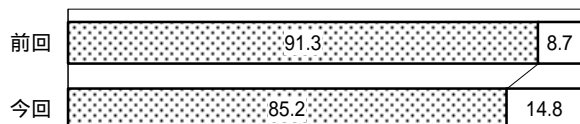


- ・ 全体では、「黒字」とする企業は19.1%で前回調査に比べて6.0ポイント増加しており、「赤字」とする企業は29.1%で2.7ポイント減少し、前回に引き続き改善傾向がみられる。
- ・ 業種別では、受注量が比較的好調な一般機器で「赤字」が11.1%と少ないが、縫製で52.4%が「赤字」としており、業種間格差が大きく、精密機器では「黒字」が前回よりも倍増して全体の半数をこえているが、「赤字」も3倍近く（20.0%）に増加しており、企業間格差の拡大がうかがわれる。

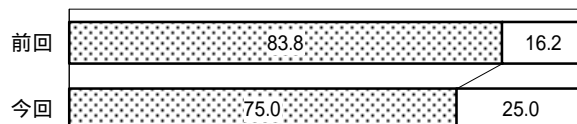
(6) 受注余力について



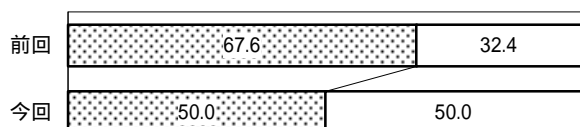
鉄鋼・非鉄



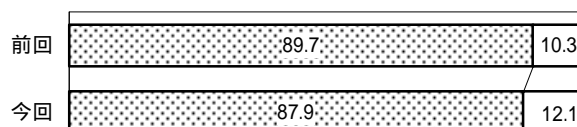
金属製品



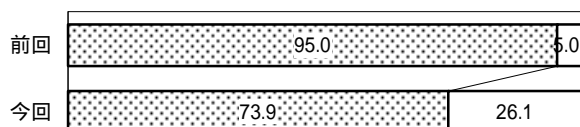
一般機器



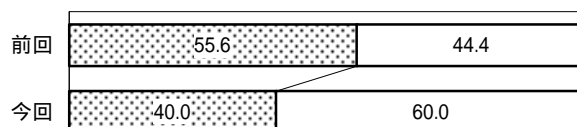
電気機器



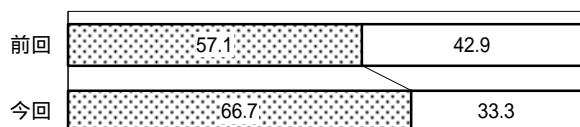
輸送用機器



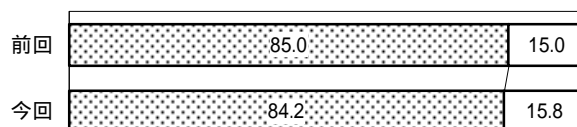
精密機器



縫製



樹脂製品



- ・ 全体では、余力「あり」とする企業が前回調査に比べて7.6ポイント減っているが、70.0%と大半の企業で受注余力を残しており、受注量が回復傾向にあるものの、十分な受注量は確保されていないことがうかがわれる。
- ・ 業種別でみると、半導体設備関連が好調なため、一般機器、精密機器で余力なしとする企業が半数以上となっているが、電気機器、樹脂製品では8割以上の企業が余力を残しており、業種間のばらつきが大きい。

財団法人 京都府中小企業振興公社

〒615-0042 京都市右京区西院東中水町 17 (京都府中小企業会館 6 階)

TEL (075) 313 - 1159 FAX (075) 321 - 5253

E mail: office@kyoto-kosha.or.jp

URL : http://www.kyoto-kosha.or.jp/